



- 子ども同士が育ちあう保育
- 一人一人がのびやかに育つ保育
- 一人一人を尊重する保育

子ども主体の保育が大切だと言われている昨今、「子ども主体」を考える時に「主体」という概念は、何を表しているのでしょうか。

「主体」というのは、一人の人間が（子どもであれ、大人であれ）「私」として生きる面と、「私たち」として生きる面の両方があるバランスをもって発揮する姿を指していると考えます。そして、「主体として受け止める」時に鍵を握るのが、「その子の思いを受け止める」「その子の存在を受け止める」という大人の関わり（働き）です。子どもたちの様子を見てみると、みな大人に自分を見てもらおうと思って一生懸命であることを感じます。「見て、見て」「こっち、来て」という、子どもの要求はほとんどの場合、自分のことを認めてほしいという要求です。幼い子どもは、自分一人では自分になれないようで、自分のことをしっかりと映し返してくれる大人を求めています。そして、自分のことが認められたと感じると、うれしく、目が輝き、心が充実して、次の活動に移っていくことができます。

「自分の存在が認められる」ということは、言い方を変えれば、自分が周りの大人から大事に思われているということです。「あなたが大事」という大人の思いが子どもの心にしみ込んで、「自分が大事」感覚が生まれ、そのように自分を大事に思ってくれる大人を信頼するようになり、今度は子どもがその大人を「あなたが大事」と思うようになり、それが周囲の友だちに広がって・・・

この流れが主体としての心の育ちの基本と言われています。

その流れがつながっていくように子どもたちを受け止めていきたいと思えます。



発達や個人差、個性の違いを認める保育  
を目指しています

基本保育時間は、  
7:00~19:00 です。

7:00~7:30、  
18:30~19:00  
の利用の場合は、  
お知らせください。



## 12月のおしらせ

今年の気候は、いつもと違って12月に入っても日中気温の高い日があったり、気温の低い日があったり（12月としては普通の気温ですが）、午後からは気温が急激に低くなったりとの予想が出ています。11月も気温の差が激しかったため、子どもたちは、遊んでいると暑くなって洋服を脱いだり、寒くなると着こんだりしていました。

着脱で調節ができるような着替えを保育室に置いていただけると嬉しいです。着脱することで、自分で体温調節ができるようになることを願っています。

